

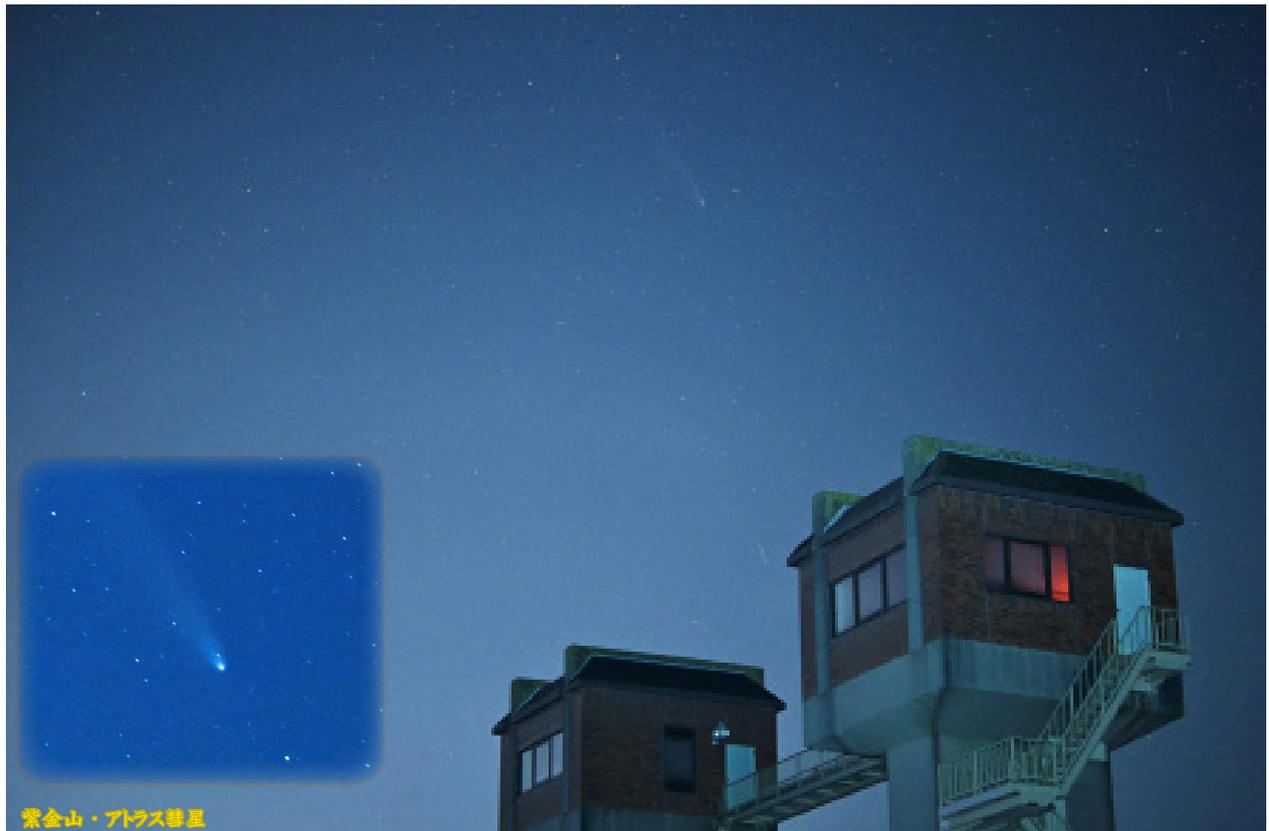
# 月刊 やちまなこ

2024.11.15 発行

No.324

## 11月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっ）だより



紫金山・アトラス彗星

### [ 紫金山・アトラス彗星と岩保木の新水門 ]

朝晩が冷える季節となってきた釧路湿原。今年の紅葉は、落葉の方が先回りをしてしまい、あっという間に終わってしまった気がします。

そんな中、10月中旬には東の空には「スーパームーン」、西の空には「紫金山・アトラス彗星」という贅沢な夜がありました。「紫金山・アトラス彗星」は2023年に中国の紫金山天文台と南アフリカにある ATRAS 望遠鏡で発見されたことからその名前が与えられました。

11月には「オリオン座流星群」とのコラボレーションも観られるという、なんとも贅沢な夜が続きました。



## 塘路フィールドノート【10/15～11/14】

### 【野鳥】

木々の落葉は進み、冬鳥の飛来が増える季節。シラルトロ湖にはヒシクイの仲間がぞくぞく集まっているようだ。塘路湖はオオハクチョウ、ユリカモメ、ダイサギなど白い鳥の姿が目立つ。ワシ類もこれから増えていこう。



ダイサギ (塘路湖)

今シーズンは多い印象。湖畔の狩場をアオサギと競い合う。首をたたんで飛ぶ。サギ科



ヤマゲラ (塘路湖畔)

本州からの利用者の問合せが多い野鳥のひとつ。塘路湖は比較的少ない印象。キツツキ科



カンムリカイツブリ (塘路湖)

昨年に続き、今季も数羽が湖上に確認された。長時間潜って魚を獲る。カイツブリ科



オオハクチョウ (塘路湖)

今年は2羽に始まり、少しずつ渡りが増えてきた。塘路湖の秋を感じる水鳥。カモ科



オジロワシ (釧路川河畔)

鴉にちょっかいを掛けられ少し本気を出したところ。鴉たちは一目散に飛び去った。タカ科



オオワシ (塘路湖畔)

今年は11月上旬に初確認。本格的な寒さがくることを告げる野鳥のひとつ。タカ科



ヤマセミ (塘路湖)

北海道では夏鳥ですが、11月上旬にも拘わらず水辺で魚を探していた。カワセミ科



カワセミ (塘路湖)

こちらも夏鳥ですが、初冬にも見掛けることがある。旅の途中かもしれない。カワセミ科



ヒシクイ (シラルトロ湖)

亜種オオヒシクイ。冬のシラルトロ湖を代表する水鳥。群れをなして飛ぶ。カモ科

### 【植物・菌類】

今年の紅葉は一昨年と似ており、葉枯れが先行して終わってしまった感が有る。地味な色あいの森で目立ってくるニシキギ科の結実と塘路湖畔で目立ったキノコを少しご紹介します。



ヤマモミジ (山紅葉)

品よく美しい紅葉をするという意味では、イタヤカエデより代表的な樹木。カエデ科



マユミ (真弓)

この時期道端で目立つ濃い桃色の蒴果。秋に蒴果が裂けて中の赤い種子が現れる。ニシキギ科



ツルウメモドキ (蔓梅擬)

秋に存在感が増す。蒴果が熟して割れると中から仮種皮に包まれた種子が現れる。ニシキギ科



ニシキギ (錦木)

センター周辺で最初に紅葉を感じさせてくれる馴染みの低木。種子も赤い。ニシキギ科



ツチスギタケモドキ (土杉茸擬)

芝地の伐採木の根周りに沢山出ている。食毒不詳で食不適とのこと。モエギタケ科



ハナイグチ (花猪口)

俗名：ラクヨウキノコ。今シーズンは少なかった印象。カラマツの菌根菌。イグチ科

### 【哺乳類】

エゾシカは角の伸びきる繁殖の季節。ある日の閉館間際のセンター前では、オス同士の壮絶な決闘が繰り広げられていたが、あまりの迫力に写真を撮り忘れてしまった。他の哺乳類も厳しい冬に向けて食べることに懸命な季節。



エゾシカ繁殖期 (茅沼蝶の森)

いつもは可愛いエゾシカもこの時期だけはちょっと怖い存在に感じる。シカ科



エゾリス (塘路湖畔)

胡桃の実を貯蔵しようと木から降りてきて人と目が合って大慌てしたところ。リス科



キタキツネ (コッタロ湿原)

ボリボリと何かを齧っていたが落ち枝のようだった。食べる物が少ない季節なのかな。

## ◎ 晩秋の湿原 野観察会を開催しました

10月26日(土)は、快晴微風の晩秋のシラルトロ湖畔で野鳥観察会を行いました。

はじめに講師からはカモ類のエクリップス羽や、似たような鳥の見分け方の解説がなされ、シラルトロ自然情報館周辺の野鳥の地鳴きを聴きながらスタート。ハシブトガラやゴジュウカラなどの留鳥を確認しながら歩みを進め、湖を上から眺められる場所で、湖面に集団でたたずむ渡り鳥を観察しました。無数のヒシクイやオオハクチョウ、ダイサギの姿が見られ、コガモなど数種類のカモ類も確認できました。観察と並行して、フクロウとシマフクロウの羽根の特徴の違いがあることと、その理由について解説があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

湖畔では晴天の上空をV字飛行するヒシクイや水面に着水しながら飛翔するユリカモメ、真上を旋回するオジロワシも現れ、最後にオオアカゲラも姿を見せて盛りだくさんの内容となりました。

確認種 18種類 参加者 16名



観察風景 (オジロワシ・ユリカモメ)



ヒシクイとオオハクチョウ

## 12月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### 絵の具づくり体験講座

[日 時] 12月7日(土) 13時～15時  
[定員・参加料] 15名 500円(材料費)  
[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### 湿原の「かたち」を見て歩こう

[日 時] 12月8日(日) 10時～12時  
[定員・参加料] 15名 無料  
[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで  
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 10/15(5:36,16:39). 10/31(5:56,16:14).11/14(6:14,15:58)

～ 指導員のひとり言 ～

■本州では富士山の初冠雪が11月7日と観測史上最も遅い記録となりましたが、塘路湖はすっかり朝晩冷え込むようになり、ストーブが恋しくなってきました。

10月中旬から11月中旬は、星空のイベントが続いて、スーパームーンと紫金山・アトラス彗星のコラボや、オリオン座流星群など、あちこちへ出掛けて撮影していたら、すっかり風邪をひいてしまいました。皆さまも季節の変わり目には、お気をつけてください。

11月からは、閉館時間も冬時間に切り替わっております。利用される際は、ご注意ください。

### 釧路湿原国立公園

#### 塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野  
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004  
E-mail: emc@kushiro-shitsugen-np.jp

Instagram [torokoemc](#)

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日  
入館無料